

# リーディングプロジェクト 7

## 基本施策Ⅱ-4



### 環境リスク評価を活用した化学物質管理の促進

●目的

化学物質は、毎日の生活を維持する上で欠かせないものとなっていますが、**環境や人の健康に影響を及ぼすものがあります**。化学物質による**環境影響を未然に防止**するため、化学物質の**環境リスク**を正しく理解するとともに、事業者による**環境リスクの低減**に向けた**化学物質の適正管理を促進**します。

環境リスクの概念式

リスク

=

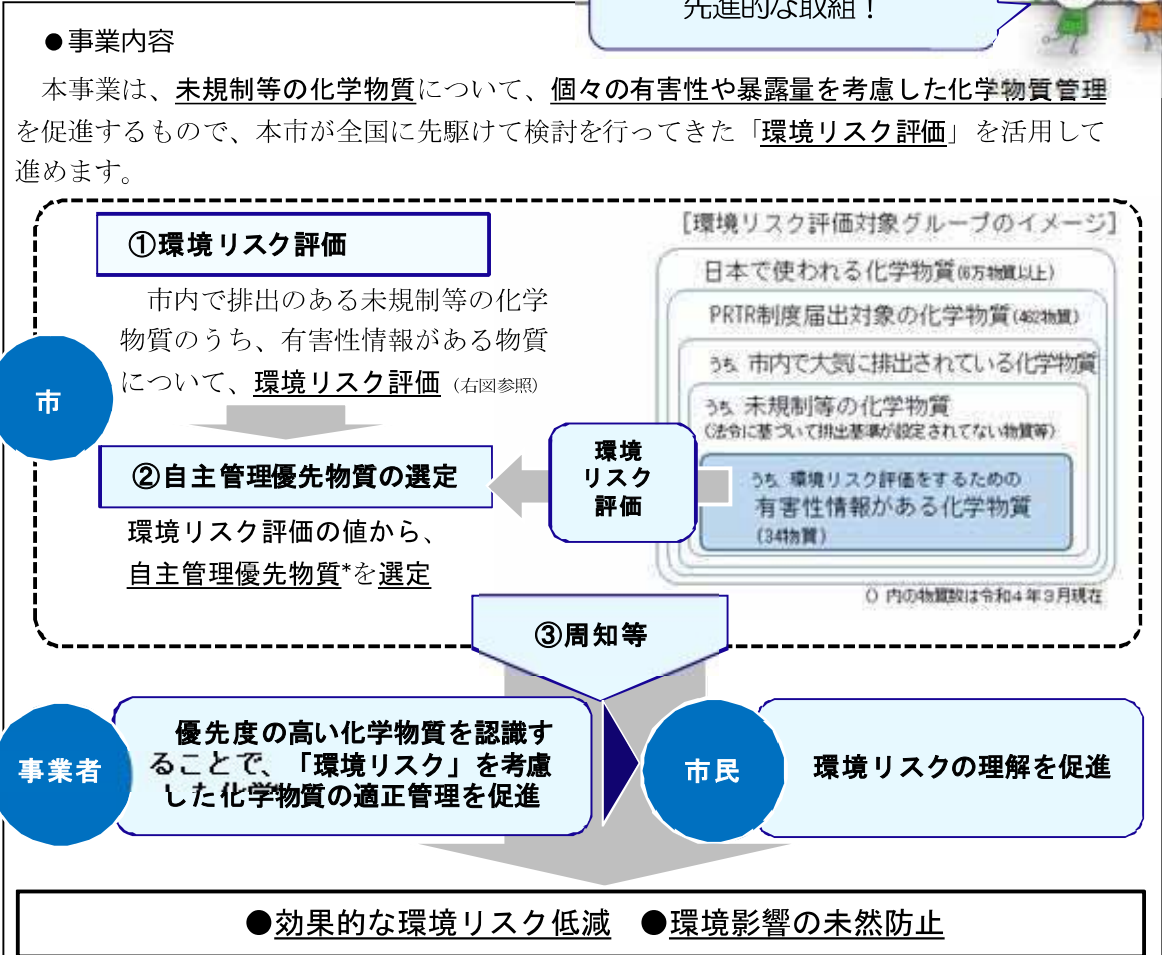
有害性

×

暴露量

\* 環境リスクの詳細は、P. 30 を参照

環境リスク評価を活用した先進的な取組！



\* 自主管理優先物質：有害性の程度や市内の大気環境の状況等を鑑み、事業者による自主的な管理の優先度が高い化学物質をいいます。自主管理優先物質及び選定基準は本計画と別に定め、自主管理優先物質については、定期的に見直しを行います。

第6章

## 基本施策Ⅱ-4 環境影響の未然防止



人の健康や環境への悪影響を未然に防ぐことをめざすため、環境影響を低減する取組を推進します。また、市民や事業者がお互い環境に対する正しい認識を持てるよう情報共有を図ります。

【施策】 具体的取組のうち主なものを記載（取組一覧は巻末付属資料の付-16～28 参照）

### ① 化学物質の適正管理と理解の促進



化学物質による環境影響の未然防止・環境リスクの低減に向け、環境リスク評価を活用し、事業者による自主的な適正管理を促すとともに、化学物質対策に関する普及啓発を進め、さらに、PRTR 制度を運用することで、化学物質の適正管理を促進します。

具体的取組	概要	計画期間の取組内容
環境リスク評価を活用した化学物質管理の促進【リーディングプロジェクト】	化学物質による環境影響の未然防止・環境リスクの低減に向け、環境リスク評価を活用し、事業者による自主的な適正管理を促進します。  【主な活動量・取組内容】 環境リスク評価等の実施状況	●化学物質の環境実態調査及び環境リスク評価の実施、結果の公表 ●環境リスク評価結果を活用した事業者による自主的な化学物質の適正管理の促進 ○事業者へのヒアリング、環境リスクに関する情報提供等の実施 ○自主管理優先物質の選定、周知及び見直しに向けた検討 ○環境モニタリング及び排出量確認の実施
環境・リスクコミュニケーションの促進	市民や事業者を対象としたセミナーを開催するなど、化学物質対策に関する普及啓発を推進します。  【主な活動量・取組内容】 セミナー開催数	●市民や事業者を対象としたセミナーの開催による化学物質対策に関する普及啓発

### ② 環境影響の低減に向けた取組



工場・事業場が環境影響の低減に向けた取組を積極的に実施するよう、事業者に対する普及啓発等の推進を図ります。また、環境に著しい影響を及ぼすおそれのある開発行為等の事業の事前段階において環境影響評価を実施するほか、大気や水などの環境への悪影響を未然に防ぐための取組を行います。

具体的取組	概要	計画期間の取組内容
新たな知見による光化学スモッグ発生抑制取組の推進【リーディングプロジェクト】	光化学オキシダント高濃度時における新たな手法による調査結果から VOC 成分ごとの影響を把握し、事業者の自主的な排出削減を促進する取組を推進します。  【主な活動量・取組内容】 事業者の自主的な排出削減を促進する取組の実施件数	●事業者の自主的取組支援など、光化学オキシダント対策の実施 ○市独自の指標を活用した VOC 排出削減の取組の成果の評価 ○調査結果を踏まえた事業者の自主的な VOC 排出削減を促進する取組の推進 ●光化学オキシダントの実態把握のための調査研究の実施 ○光化学オキシダント高濃度時の VOC 成分調査の実施 ○光化学オキシダント生成に影響する VOC 成分の把握